

川越市都市計画マスタープラン見直し説明会(古谷・南古谷)の結果について

〈説明会の概要〉

1. 開催日時 令和5年7月21日(金) 午後6時30分～8時00分
2. 開催場所 東部地域ふれあいセンター
3. 参加者 22名

〈項目別意見と市の考え方〉

いただいた主な意見を次のとおり項目別に分類し、市の考え方を記載しています。

項目1 南古谷駅周辺の土地利用について

No.	意見
1	南古谷駅周辺に税金が落ちるように、駅周辺の市街化調整区域を活用できるような都市計画をお願いしたい。
2	他市では国道254号バイパス沿いに物流倉庫が完成しようとしている。(仮称)川越東環状線や外環状線をパイパスに直結させて起爆剤とし、これからの川越市を考えてもらいたい。

【市の考え方】

全体構想改定骨子案 21 ページ「1、土地利用の方針等」に記載しているとおり、企業誘致に向けた適切な土地利用を図るため、マスタープラン改定において土地利用想定箇所の見直しを進めるなど、効果的な企業誘致の推進に取り組んでいるところです。また、地域別構想改定骨子案(古谷地区)および(南古谷地区)まちづくりの方向性(案)に記載のとおり、都市計画道路等の整備を進めてまいります。

項目2 南古谷駅周辺まちづくり

No.	意見
1	南古谷駅は駅舎が橋上化され、南北駅前広場が整備される予定である。住宅地もまだまだ建設される余地がある。南古谷小学校の児童数は、市内で一番多い。今後も定住人口の増加が図られるような政策をお願いしたい。
2	南古谷駅周辺の地域核としての整備が非常に重要である。
3	開設する北側も含め南古谷駅周辺に公園のような人々がくつろいだり、集まったりできるような場所があるとよい。

【市の考え方】

南古谷駅周辺まちづくりについては、地域別構想改定骨子案(南古谷地区②)のまちづくりの方向性(案)に記載のとおり進めていくこととしておりますが、ご意見を踏まえ、今後改定素案において、さらに検討してまいります。

項目 3 JR 川越線の複線化について

No.	意見
1	今後、JR は羽田空港直通の電車を川越から出す可能性もあり、川越線、埼京線の利便性がさらに高まる。南古谷駅周辺の基盤整備などのまちづくりをすることで、南古谷駅の乗降客数を増やし、川越線の複線化をしてもらいたい。

【市の考え方】

ご意見を踏まえ、「複線化に関する要望」について、今後改定素案への記載を検討してまいります。

項目 4 地区内の道路・交通について

No.	意見
1	駅の東西の踏切で道路が渋滞している。
2	南古谷駅から国道 16 号に抜ける道路(南古谷伊佐沼線)がその先に抜けていないため、渋滞が発生する。埼玉医大総合医療センター方面まで開通させてもらいたい。
3	地区内の道路整備を進めてほしい。道路幅が狭く、安全性が確保できないため、小学生が遠回りして倍の時間をかけて通学している。
4	駅周辺の道路整備にあたっては、並木を作ってほしい。住民の理解がないと当然難しいが、管理は自治会で行っても良いと考えている。
5	南古谷駅の利用者数を増やすことを考えたときに、道路整備を行うことで、北口から埼玉医大総合医療センターや川越グリーンパークへバスも出ることが可能となるのではないかと。
6	国道 16 号の上江橋(川越市方面)では朝の通勤時間帯に約2km渋滞する。解消のためには(仮称)川越東環状や外環状線を整備することが必要である。抜け道として周辺の生活道路に進入する車も減る。
7	久下戸跨線橋は渋滞の抜け道となっていて大型車の通行が多い。道路の破損もよくみられるため、補修をきちんと行ってほしい。またその先は通学路となっており、安全の確保も考慮してほしい。

【市の考え方】

地域別構想改定骨子案(古谷地区①)および(南古谷地区①)の「まちづくりの動向と課題」に記載のとおり、渋滞の解消や生活道路への交通流入軽減等は課題であると認識しております。道路の整備に関しては、全体構想改定骨子案 23、24ページ「2、道路・交通体系の方針」などに記載しているとおり、進めていくこととしていますが、ご意見を踏まえ、今後改定素案において、さらに検討してまいります。また、道路の補修については、関係各課と情報共有し、参考とさせていただきます。

項目 5 初雁球場等のスポーツ施設について

No.	意見
1	初雁球場等のスポーツ施設については土地利用想定箇所として位置付けを検討しているのか。

【市の考え方】

初雁球場については位置付けを予定しておりませんが、伊佐沼公園等の大規模な公園については、引き続き位置付けを検討してまいります。

項目 6 その他

No.	意見
1	総合的には古い文化を復活しながら、新しい文化の創造をしていってほしいという意見である。川越は観光客が徐々に増加してきており、以前に戻りつつある。川越は蔵造りの町並みと川越まつりだけで終わってしまわないよう、今後はウェスタ川越などを中心とした新しいまちづくりをしていかないといけない。行政とそこに住んでいる住民と一緒にしながら、新しい文化の創造的なものをぜひやっていただきたい。例えば土日どこかに行けば、ジャズバンドがやっているとか、古典的な芸能やっているなど。川越は宿泊客が少ないのでそういったものも活用しながら、夜の街を含めて、なるべく宿泊客を増やしていくことが必要である。
2	本川越駅と川越駅間の道路は、埼玉県で一番人通りの多い通りと言われていて、高校生が多いが、そこに大学生も集えるようにしてもらいたい。大学生はみんな池袋まで行ってしまいます。それを川越で引き止めるような、そういうまちづくりも必要である。
3	初雁球場の移転先として、古谷本郷周辺はどうか。国道16号や254号バイパス、川越線からも近く交通の便が良い。

4	他の市区町村では、大学を誘致して若者が増え、お店が増え、魅力的なまちになったという事例もある。川越でも大学を誘致して、開発を進め、市にとっても財源がプラスとなるようなことを行ってもらいたい。
---	---

【市の考え方】

関係各課と情報共有し、今後の検討にあたり、参考とさせていただきます。